



企業レポート

ナガセ化成工業株式会社

赤とんぼの里から世界へ発進

柳 田 佑 二*

NAGASE CHEMICALS LTD.

1. 会 社 概 要

名 称 ナガセ化成工業株式会社
英 文 名 称 NAGASE CHEMICALS LTD.
本社所在地 〒550-91 大阪市西区新町
1丁目1番17号
播磨工場 〒679-41 兵庫県龍野市龍野町
中井236番地
創 立 1980年(昭和55年)10月1日
資 本 金 2億6,620万円(1996年1月現在)
代 表 者 取締役社長 岸田 利郎
売 上 高 47億円(1995年度)
従 業 員 数 120人
事 業 内 容 各種工業薬品の製造販売

- ・水溶性エポキシ化合物
- ・エピクロルヒドリン誘導体
- ・工業用殺菌剤
- ・特殊接着剤等のポリマー製品
- ・医農薬中間原料等のファインケミカル製品

2. 会 社 の 沿 革

化学品専門商社で国内 No. 1 の長瀬産業の有機合成部門の工場として1958年に発足した尼崎東工場が前身となります。1970年に、詩人三木露風の生地「赤とんぼ」の歌で有名な兵庫県龍野市に移転し、長瀬産業播磨工場とな

りました。1980年10月1日に、この工場が分離独立し、これからの化学産業の未来を担うべく、新しい生産、研究開発志向の会社としてナガセ化成工業が誕生しました。従来からの水溶性エポキシ化合物、工業用殺菌剤に加えて、ファインケミカル製品、ファインポリマー製品を新たな商品群に加え、多様化高度化する時代のニーズを的確に把握し、世界に通用する独創性の高い技術開発力のあるスペシャリティケミカルメーカーをめざして前進を続けて現在に至っています。

3. 製 品 紹 介

①水溶性エポキシ化合物

エポキシと言えば直ぐに接着剤を連想される方が多いと思います。また汎用エポキシ樹脂は塗料、電気、電子材料等で広く用いられています。しかし、水溶性エポキシ化合物はその中でも特殊な分野に属しており、水溶性という特性を生かして本来水系の繊維産業に於てセルロース系繊維の防シワ防縮剤、ポリエステルタイヤコードとゴムとの接着向上剤、合成繊維の帯電防止剤に利用されることから始まり、その後樹脂の改質剤、塗料、インキ、接着剤分野での省資源、無公害化、低コスト指向による溶剤系から水系樹脂への切り換え、コンクリート等の湿潤面での接着性の向上等その用途は多方面にわたっています。近年需要が増大しているのは水溶性樹脂の架橋剤としての用途です。

当社はこの水溶性エポキシ化合物を永年開発改良してきており、100種類以上の製品をデナコールという商標で上市しております。低粘度液体から粘稠な液体、さらに粉体エポキシに至

* Yuji YANAGIDA
1944年11月1日生
1969年大阪大学大学院工学研究
科修士課程卒業
現在、ナガセ化成工業株式会社、
営業開発部副部長、工学博士、応
用化学
TEL 0791-63-4561
FAX 0791-63-2827



るまで製造設備の対応が可能であり、プロセスノウハウも含めて極めて高い競争力を自負しております。

②工業用殺菌剤

バクテリアや黴による腐敗、製品劣化等の微生物災害は日常生活からはじまって塗料、接着剤、紙、パルプ、皮革、繊維、木材、金属加工、油、化粧品、プラスチック等の工業材料、食品、病院、医療機械器具、建築内外装と広い範囲で発生しています。これら微生物災害を防除するために各種の処理がなされており、その中心となっているのが防菌、防黴剤です。これらは微生物細胞の代謝機構を阻害することでその働きを示すものであり、それだけ安全性については慎重である必要があります。

当社の工業用殺菌剤 IF-1000 は一連の有機ヨウ素系殺菌剤の端緒をなす化合物で、極めて低毒性で且つ黴に対して卓効を示し、木材、皮革、繊維等に広く用いられています。当社は他にイソチアゾリン系の原体を自製、エマルジョン、水処理剤の防腐剤として使用されています。また輸入殺菌剤原体の販売、及びこれら原体をベースにしてユーザーニーズに合った製剤品の開発を進めています。また、トラブルの原因となる微生物の分離、固定や抗菌力測定等の各種技術サービスを専門スタッフが自社技術で行なっています。

殺菌剤の分野はノウハウで隠れている部分が多く、後発は苦勞が絶えませんが、安全性、広い抗菌スペクトル、水系、無臭性、低コスト等をキーワードに開発を行なっています。

③エピクロロヒドリン誘導体

エポキシ化の主原料となるエピクロロヒドリンの誘導体の展開もはかっています。「ワイステックス」は第四級アンモニウム塩型水溶性樹脂で、水処理剤、染料固着剤等に使われています。

④ファイン(ポリマー)ケミカル

タイヤコードとゴムの接着向上剤としてデナコールに加えて製造販売しているのがデナボンドです。デナボンドはタイヤ以外にベルト、ホースにも使われ、R.F.R. と混合し、一浴処理でできる特長があります。

その他、デナコールにアクリル酸、メタクリル酸を反応させたエポキシアクリレート「デナコールアクリレート」はUV、EB硬化用モノマー、オリゴマーとして塗料、インキ、印刷版等に使われています。

ファインケミカル製品では、カラー写真のカップラー、塩ビ安定剤、メッキ薬、医薬中間体等があり、いずれも有機合成分野での蓄積された技術を背景にユーザーニーズに対応しています。

4. 研究開発体制

約20人が研究員として、日夜エポキシに、殺菌剤に、有機合成にと研究に励んでおります。研究者の年齢はいずれも若く(30歳台はわずか2名)活力に富んでいます。また毎年7～8月の2ヶ月間IAESTE(国際学生技術研修会)の学生(独、仏、オランダ等)を2～3名受け入れており、慣れぬ英会話に悩みながらも楽しく共同研究を行なっています。

5. 従業員の生活

昨年の大震災では幸いに工場の被害はありませんでしたが、従業員の親類、知人には被害を受けた者もあり、今更ながらその影響の大きさに驚かされます。

工場は龍野市と姫路市の境界に近く、周囲は全くの田園ですが、高速道路の橋脚も見え奇妙なアンバランスを醸しています。従業員は全員車通勤で、通勤時間は20～30分といったところです。大都市に比べて地価も安いので大半の従業員は庭つき一戸建ての生活を楽しんでいます。

6. む す び

当社は基本的には研究開発と生産志向の会社でありますので、親会社である長瀬産業の国内海外での強力なネットワークに依存している面が多々あります。従って客先のニーズが入り易くこれらの情報を適宜取捨選択し、当社の独自性を加えて高付加価値商品に仕立ていくよう努力しております。そして長瀬産業のバックアップの下で世界に通用する技術を持った会社としてまた地元の人にも愛される会社として成長していくよう努力を積み重ねていく所存です。